

世きしん 景気動向調査レポート

第 100 回特別記念号



せきしん景気動向調査第100回を記念し、関商工会議所会頭 鈴木良春氏をお招きし、関信用金庫理事長との対談会を開催いたしました。

石竹理事長（以下、敬称略）

早速ですが、2024年の関市全体の経済の状況をどのように感じていますか。

特に、主力産業である刃物関係産業の状況についてどのように感じていますか。

鈴木会頭（以下、敬称略）

コロナウイルスによる行動制限が解除されたことにより、中小零細企業、飲食店等到大分動きが出てきた気がします。また、コロナの頃は観光地を回るという事は中々無かったが、人の動きが目に見えて増えてきたように思います。ただし、関市には宿泊施設が少なく、宿泊に伴い飲食店等にお金が落ちる仕組みがないため、宿泊施設を作るという事が観光の面での課題であると思います。また、刃物業界においては物価高に苦しんだ1年であったと思いますが、価格転嫁にそれぞれが努力してきた結果、受注、売上については概ね順調に推移してきたのではないかと思います。少子高齢化に伴い、後継者不在のため廃業する事業者が毎年2、3社でてきており、下請け先、外注先、職人の廃業等により、以前より製品ができてくる時間がかかっていると感じています。

石竹

2024年は受注、売上をある程度確保できたとの話でしたが、下請け、孫請けの価格転嫁はまだ厳しいと思われますか。

鈴木

厳しいですね。売上が下がらないようにするため、価格転嫁は徐々にでないと難しいと思います。材料費やエネルギーの高騰、人件費の高騰、少子高齢化により、今までの関市内の分業システムは今後少しずつ変わっていくのではないかと思います。また、力のある企業から内製化、価格転嫁やベースアップ、DX等に向きあう必要があると思います。そのような中、せきしんからも毎年100万円（10年間に渡り）寄付していただき、昨年からは岐阜大学に刃物学を立ち上げることができました。新しい検査方法、DXに結び付く考え方、コストダウン、新しい素材の研究等大変期待しています。

石竹

中濃地域では出生率が低下し、人出が流出しているが、今後どうやって人材を確保していったらいいとお考えでしょうか。

鈴木

非常に難しい問題であると思います。製造業においてはDXやAIの活用等で、ある程度対応できると思いますが、飲食業等のサービス業においては人がいないとどうしようもないため、今後統廃合が進んでいくのではないかと思います。これからのサービス業はこだわりを持って、「ナンバーワンではなくオンリーワン」を目指し、何か特色を持たないと商いとしては難しいのではないかと思います。

石竹

2025年の関市の経済状況（見込み・予想）はどのようにお考えでしょうか。

鈴木

仕入コスト、燃料コスト、人件費は今後も上がっていくと思うので、今後は価格転嫁をせざるを得ないのではないかと思います。事業継承についてはデータでは見えていますが、せきしんさんはどう捉えられていますか。

石竹

比較的規模の大きい中小企業はM&Aで事業を継承される場合が多いが、中小零細企業は事業主の高齢化に伴い廃業される場合が多く、また廃業の際は親族に債務、負債が残らないように廃業する場合があります。

せきしんとしては取引先企業には廃業ではなく、極力事業を継続していただきたいので、相談してもらえような関係作りが大切だと思います。

また、イギリスのチャールズ・ダーウィンの言葉に「唯一生き残ることができるのは、変化できるものである」とあるように、どんなに賢いものでも、どんなに強いものでも変化に対応できる柔軟性が無ければ滅びてしまうため、時代に合わせて柔軟に変化していける企業が強いと思います。

鈴木

私も時流に乗って変化していける企業が強いと思います。

石竹

昨年、日本銀行がマイナス金利の解除、利上げを行い、「金利のある世界」に入りました。中小企業にとっては、今後どのような課題が出てくるとお考えですか。

鈴木

「金利のある世界」が標準になり、今後更なる金利上昇も十分に予想される。中小企業において、設備投資等であれば今以上に費用対効果を検討し、対応することが重要になると思います。

石竹

地域金融機関（関信用金庫）に1番期待される事をお聞かせください。

鈴木

貸出金利と預金金利の利ザヤで単純に利益を出すという従来の考えではなく、「金融機関はサービス業である。」という考えを持っていくべきだと思います。また、今まではリモートで終わっていたこともあるかと思いますが、今一度原点にもどってFace to Faceで顔と顔を合わせて話をするのが大事であると思いますし、渉外の人が地域の人から信頼してもらえるだけの知識を持つよう、日々自己研鑽に励んでいただけるとよいと思います。

石竹

今後、関市の産業が発展していくために商工会議所として力を入れて行かれる事や展望をお聞かせください。

鈴木

補助金やサービス等の情報を市内の皆様に対し、いち早く発信していくことと、2024年の働き方改革に対応した方策を検討していきたいと思います。

石竹

本日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

- 調査期間…令和6年12月上旬
- 調査対象先…当金庫取引事業先の製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種から抽出した210社を対象
- 回答数…185社(88.09%)
- 調査方法…アンケート調査
- 調査内容…令和6年10～12月期の景気実態と令和7年1～3月期の景気予測

主な指数の推移

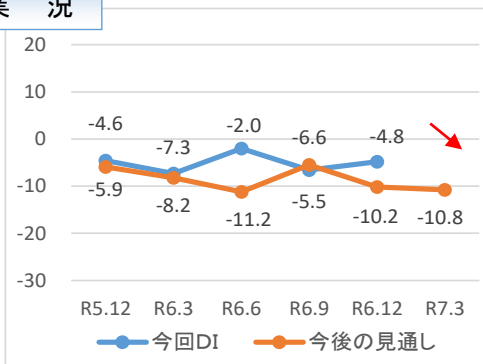
業種	業況判断D I			売上判断D I			収益判断D I		
	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し
総合	▲4.8	▲6.6	▲10.8	8.1	▲7.1	2.7	▲1.0	▲11.7	▲3.2
製造業	1.9	12.7	7.8	27.4	7.2	11.7	17.6	1.8	11.7
卸売業	▲21.0	▲26.3	▲15.7	▲10.5	▲31.5	10.5	▲5.2	▲26.3	0.0
小売業	▲11.7	▲23.5	▲26.4	▲8.8	▲17.6	0.0	▲26.4	▲29.4	▲20.5
サービス業	▲5.8	▲14.2	▲14.7	0.0	▲11.4	▲5.8	▲5.8	▲20.0	▲2.9
建設業	6.2	▲2.7	▲9.3	31.2	0.0	6.2	15.6	▲2.7	0.0
不動産業	▲13.3	▲6.2	▲26.6	▲26.6	▲12.5	▲20.0	▲26.6	▲6.2	▲26.6

業況判断D Iは総合で▲4.8となり、前回より1.8ポイント改善。業種別では卸売業、小売業、サービス業が改善、建設業が回復したものの、製造業、不動産業は低下した。

今後の見通しは、総合で今回実績と比べ低下すると見込まれており、製造業、卸売業は改善すると予測されているものの、小売業、サービス業、建設業、不動産業は低下すると予測されている。

売上判断D Iは総合で15.2ポイント回復、収益判断D Iは総合で10.7ポイント改善したが、今後の見通しは、いずれも低下すると予測されている。

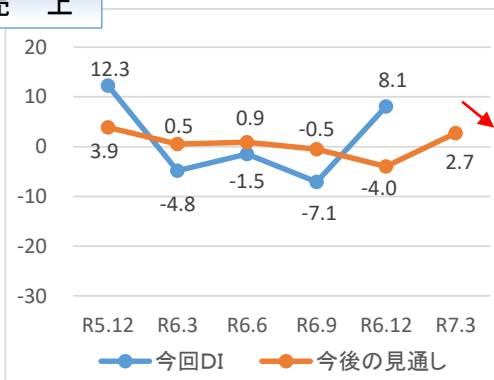
業 況



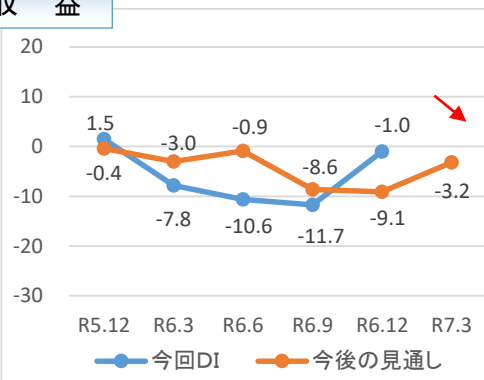
D Iとは景気や業況の動きを捉えるための指数
D I = (良い + やや良い) - (やや悪い + 悪い)

※なお、数値については、少数点第二位以下を切り捨てて表示してあります。

売 上

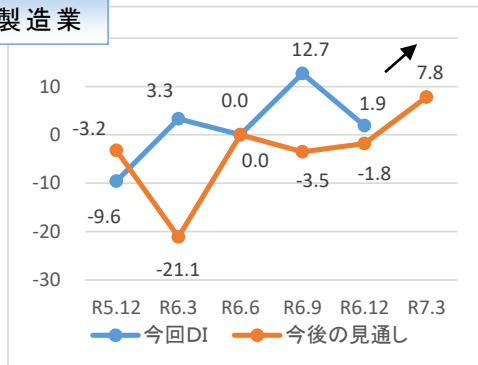


収 益



業種別業況判断DIの推移

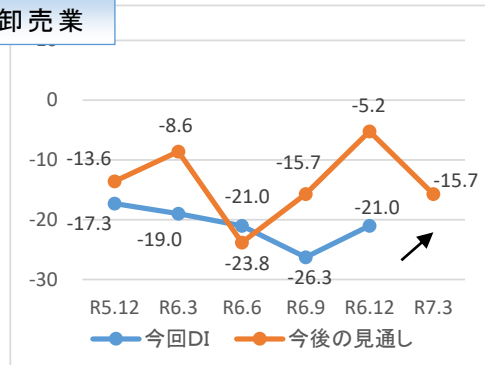
製造業



業況は、低下した。
今後の見通しは改善すると予測されている。

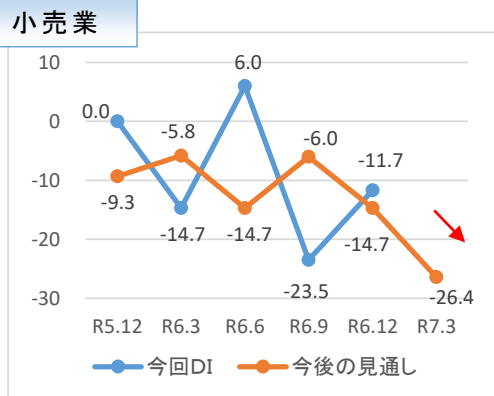
業況は、改善した。
今後の見通しはさらに改善すると予測されている。

卸売業



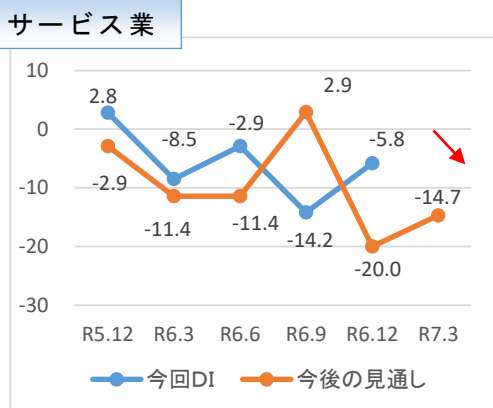
業況は、改善した。
今後の見通しは低下すると予測されている。

小売業

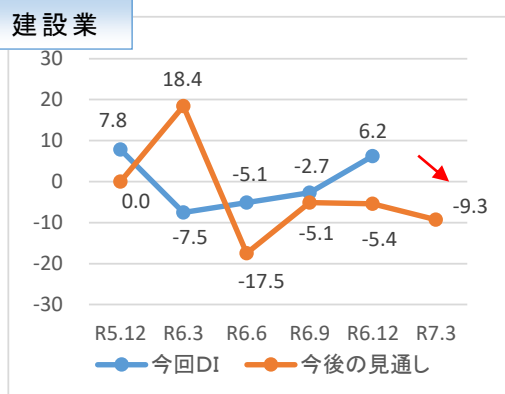


業況は、改善した。
今後の見通しは低下すると予測されている。

サービス業



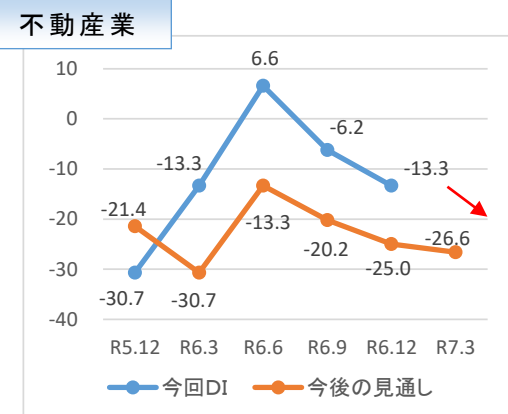
建設業



業況は、回復した。
今後の見通しは低下すると予測されている。

業況は、低下した。
今後の見通しはさらに低下すると予測されている。

不動産業



その他の指数の推移

業種	資金繰り判断D I			販売価格判断D I			仕入価格判断D I		
	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し
総合	▲ 4.8	▲ 6.6	▲ 7.5	30.2	18.3	27.5	46.4	40.3	38.9
製造業	▲ 1.9	▲ 1.8	▲ 3.9	25.4	18.1	29.4	43.1	30.9	35.2
卸売業	0.0	0.0	0.0	36.8	42.1	15.7	42.1	68.4	21.0
小売業	▲ 5.8	▲ 11.7	▲ 17.6	55.8	29.4	61.7	58.8	47.0	52.9
サービス業	▲ 14.7	▲ 14.2	▲ 8.8	20.5	5.7	20.5	41.1	45.7	41.1
建設業	▲ 6.2	▲ 5.4	▲ 6.2	40.6	27.0	25.0	68.7	45.9	53.1
不動産業	6.6	▲ 6.2	▲ 6.6	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	0.0	0.0	6.6

資金繰り判断D Iは総合で前回より1.8ポイントプラスの▲4.8、今後の見通しは、今回より2.7ポイントマイナスで、低下すると予測されている。

販売価格判断D Iは総合で前回より11.9ポイントプラスの30.2、今後の見通しは、今回より2.7ポイントマイナスで、低下すると予測されている。

仕入価格判断D Iは総合で前回より6.1ポイントプラスの46.4、今後の見通しは、今回より7.5ポイントマイナスで、低下すると予測されている。

業種	残業時間判断D I			人手過不足判断D I			設備状況判断D I			設備投資実施企業割合		
	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し
総合	▲ 2.7	▲ 5.1	▲ 1.6	▲ 25.9	▲ 16.3	▲ 29.1	▲ 7.0	▲ 9.4	▲ 7.0	26.1	20.1	26.6
製造業	0.0	7.2	1.9	▲ 21.5	▲ 21.8	▲ 25.4	▲ 13.7	▲ 9.0	▲ 11.7	40.0	26.9	36.0
卸売業	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 15.7	▲ 21.0	▲ 10.5	0.0	▲ 15.7	0.0	11.1	17.6	11.1
小売業	0.0	▲ 8.8	▲ 2.9	▲ 23.5	▲ 11.7	▲ 23.5	0.0	▲ 11.7	▲ 2.9	27.2	21.8	21.8
サービス業	▲ 11.7	▲ 14.2	▲ 5.8	▲ 26.4	▲ 20.0	▲ 35.2	▲ 14.7	▲ 17.1	▲ 14.7	14.7	18.1	26.4
建設業	3.1	▲ 5.4	3.1	▲ 50.0	▲ 13.5	▲ 53.1	0.0	2.7	0.0	24.2	11.4	25.8
不動産業	0.0	▲ 12.5	0.0	▲ 6.6	0.0	▲ 13.3	-	-	-	-	-	-

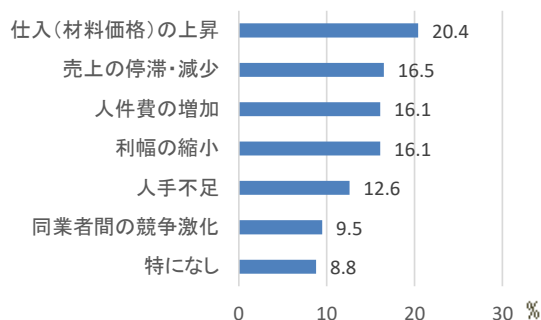
残業時間判断D Iは総合で前回より2.4ポイントプラスの▲2.7、今後の見通しは、今回より1.1ポイントプラスで、さらに増加すると予測されている。

人手過不足判断D Iは総合で前回より9.6ポイントマイナスの▲25.9、今後の見通しは、今回より3.2ポイントマイナスで、さらに人手不足感が強まると予測されている。

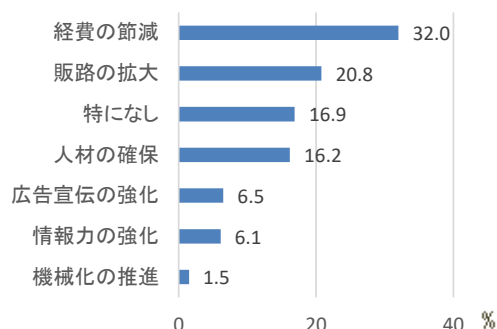
設備投資状況判断D Iは総合で前回より2.4ポイントプラスの▲7.0、今後の見通しは、今回と同様になると予測されている。

設備投資実施企業の割合は総合で前回より6.0ポイントプラスの26.1%、今後の見通しは、今回より0.5ポイントプラスで、さらに上昇すると予測されている。

【経営上の問題点】

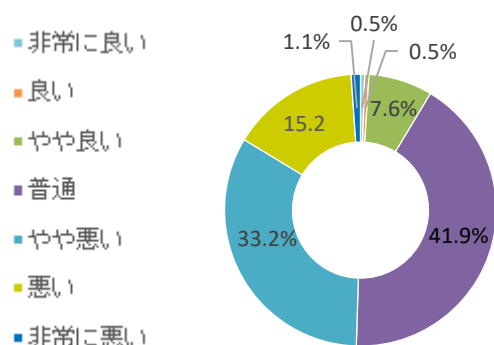


【当面の重点施策】

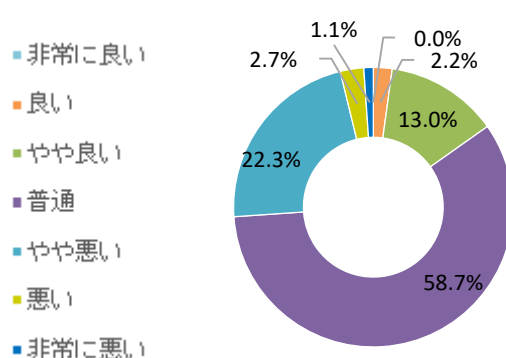


《特別調査》 2025年（令和7年）の経営見通し

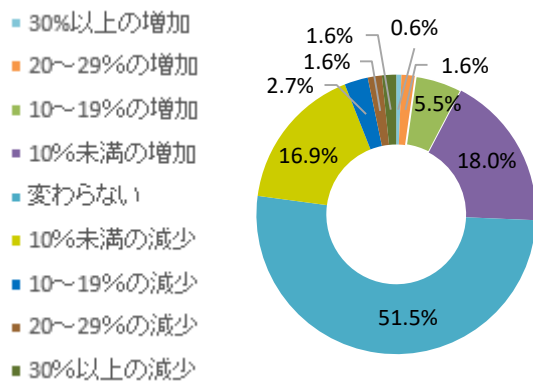
問1. 2025年の日本の景気について



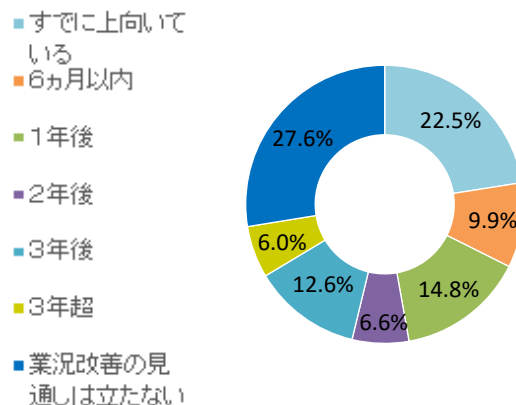
問2. 2025年の自社の業況（景気）について



問3. 2025年の売上額の伸び率について

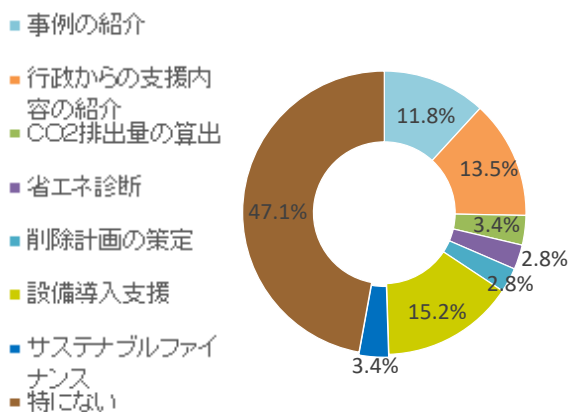


問4. 自社の業況が上向く転換期について

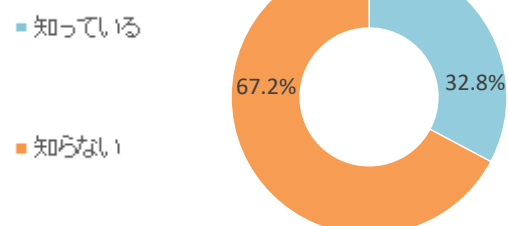


問5. 脱炭素への取組みについて

信用金庫業界に期待する取組み



信用金庫業界の取組状況



地域内の主な経済指標の推移

主 要 指 標			1 0 月			1 1 月			1 2 月		
				前月比	前年比		前月比	前年比		前月比	前年比
人 口 及 世帯数	関 市	人 口	84,036	-132	-827	84,044	8	-803	84,024	-20	-801
		世 帯 数	36,475	-67	334	36,512	37	324	36,547	35	297
	岐阜市	人 口	394,133	-140	-1,997	394,488	355	-1,823	394,386	-102	-1,754
		世 帯 数	175,467	-1	510	175,882	415	694	175,995	113	825
	美濃市	人 口	18,083	-12	-267	18,036	-47	-289	18,027	-9	-260
		世 帯 数	7,286	-6	9	7,275	-11	-1	7,275	0	18
	美濃加茂市	人 口	56,914	41	76	56,930	16	67	56,973	43	74
		世 帯 数	23,211	32	383	23,239	28	355	23,300	61	395
	各務原市	人 口	141,629	-14	-774	141,626	-3	-763	141,558	-68	-816
		世 帯 数	58,831	67	642	58,936	105	687	58,926	-10	614
	岐阜県	人 口	1,913,076	-987	-16,593	1,912,853	-223	-16,371	1,911,884	-969	-16,215
		世 帯 数	797,299	153	4,974	798,382	1,083	5,183	798,861	479	5,398

住宅着工件数	関 市	34	7	-4	37	3	12	—	—	—
	岐 阜 市	203	55	44	126	-77	-82	—	—	—
	美 濃 市	7	6	2	2	-5	-4	—	—	—
	美濃加茂市	44	23	19	37	-7	16	—	—	—
	各 務 原 市	121	60	40	83	-38	13	—	—	—
	岐 阜 県	993	353	176	733	-260	-97	—	—	—

雇用失業 情勢	関市	有効求人倍率	1.28	-0.02	-0.10	1.21	-0.07	-0.22	—	—	—
	岐阜県内	有効求人倍率	1.55	0.06	-0.03	1.56	0.01	-0.05	—	—	—
	全 国	有効求人倍率	1.27	0.03	-0.04	1.30	0.03	-0.02	—	—	—

企業倒産 状況	岐阜県内	件 数	7	1	-7	14	7	4	11	-3	1
		金額（百万円）	975	690	-1,370	1,847	872	1,240	1,198	-649	924

参考資料・・・関市人口推移、岐阜県市町村別推計人口・世帯数、岐阜県建築着工統計等